

増進の必要を具申せるのであり、能率研究協議會を代表して(一)産業能率技師養成機關を設けたこと及び(二)官公私立學校に能率に關する學科を設けたことの二項目より成るものであつた。

尚震災に際して本會の行つた若干の社會事業を摘記す
此中、先づ震災直後の罹災者の收容、炊出場の設置、災害情報案内所の設置、揭示板の設置及び收容所の設置等に初めとして、芝公園内に震災に依る被害者に對して無料にて治療をなすべく臨時病院を設置して醫療に努めた
了外横濱市にも同様の病院を設置し、又洲崎埋立地には
傳染病舎を建設したか、殊に芝公園の臨時病院には特に
皇后陛下行啓の光榮を擔つた。更に、罹災者慰字會、帝都復興講演會及び社會事業團體打合會を開催する等非常

事態に對する臨機之處置として社會事業によく指導的役割を果したことは特記されねばならぬ。

第十五項 藏前工業專修學校の經營及びその他 の社會施設

最後に、この時代に設置された藏前工業專修學校、善隣館、産業能率研究所、托兒所及び簡易宿泊所等の社會政策的諸施設及び協調會館の建設に就て述べねばならぬ。
一、藏前工業專修學校は從來東京高等學堂校長平島精一博士の唱導により同校附屬工業補習學校として主として勞務者に補修教育を施して來たものであつたが、大正十年三月本會が之を継承して藏前工業專修學校と改稱し初代校長には工學博士吉武策之進氏を推薦して、同校從